

昭和五十三年九月一日

三十八—A B C D

トヨタ、小型トラックハイラックスを全面改良

——スーパーデラックス車を追加——

トヨタ自動車工業㈱、トヨタ自動車販売㈱は一トンボンネットトラックハイラックスシリーズを、昭和四十七年五月以来六年四カ月ぶりに全面改良して九月一日より全国一斉に発売する。今回の改良の狙いは、小型トラック本来の機能の充実はもとより、居住性、安全性のいっそうの向上を図るとともに、このクラスのトラックを乗用車やレジャーカーとして使うという新しい傾向に対応したものである。そのため、とくに装備の充実、スーパーデラックス車の新設など「乗用車なみの乗り心地と装備をそなえたトラック」づくりに十分配慮した。

今回発売する車型は、標準ボデー三車型、ロングボデー四車型（スーパーデラックス一車型を含む）の計七車型でいずれも十二R—J型（一五八七cc）エンジンを搭載している。

なお、ハイラックスの主な改良点、車種体系、価格、主要諸元は次のとおりである。



トヨタ ハイラックス ロングボデー スーパーデラックス (H-RN40-JFJ) '78.9
サイドストライプはオプション

◎ ハイラックスの主な改良点

(1) スタイルの一新

① 空気力学と視界の向上を考慮した前面傾斜のノーズと二灯式ヘッドランプの採用、フロントウィンドウガラスの拡大などにより、力強さに加えて明るくスポーティーなスタイルとなった。

② 室内は外銀色（ホワイト、ブルー、グリーン、オレンジ）に合わせて黒、ブルー、ベージュの三色を採用。

(2) 積載機能の向上

① 荷台のホイールハウス間を六〇mm拡大したほか、標準ボデーの荷台長を一五mm拡大したことなどにより、積載スペースは広く使い易くなった。

② 荷物の積み降ろしを容易にするため床面地上高を六九〇mmと低くしている。

③ ロープフックを大型化するとともにボデーと一体化した広いトップレールを採用。

(3) 居住性・操作性・静粛性の向上

① スーパーデラックス車を新設。これはキャビンを標準キャビンより六五mm長くし、セミリクライニングシートの採用、シート形状の変更、装備の充実等によって乗用車なみの居住性を備えたものである。また標準キャビンについても、キャビン内部の拡大や、シート形状の改良により、いっそうゆったりしたものとなった。

② 視認性の高い大型メーター類、ランプ系とワイパー系を手もとで操作できる集中一体式スイッチを採用。

③ ドア三角部のシール性の改善により風切音の防止に努めているほか、遮音材、吸音材を追加して室内騒音の低下を図っている。

④ ヒーター容量の増大により快適な空調が可能となった。

またビルトインタイプのエアコンをオプション設定。

(4) 安全性の向上

① 確実な制動力を発揮するフロントディスクブレーキを採用（デラックス、スーパーデラックス）。

② 急ブレーキ時の車両の安定性向上を図るためリヤブレーキの油圧をコントロールするDSV（ディセラレーションセンシングバルブ）を採用（デラックス、スーパーデラックス）。

③ サスペンションの改良による快適な乗り心地と走行安定性を向上。

④ 小雨時に便利な間欠ワイパーや、サイドウィンドウの曇りをとるサイドデフロスターを採用（デラックス、スーパーデラックス）。

などである。

以
上

◎ ハイラックス車種体系一覧

ボデータイプ グレード トランスミッション	標準ボデー		ロングボデー		
	スタンダード	デラックス	スタンダード	デラックス	スーパーデラックス
四段マニュアルコラムシフト	○	○	○	○	○
四段マニュアルフロアシフト		○		○	

◎ ハイラックス標準価格一覧

(スペアタイヤ・標準工具一式付 単位：千円)

車名	ボデータイプ	グレード	トランスミッション	東京	名古屋	大阪
ハイラックス	標準ボデー	スタンダード	4段マニュアルコラムシフト	705	714	719
		デラックス	4段マニュアルコラムシフト	733	742	747
			4段マニュアルフロアシフト	733	742	747
	ロングボデー	スタンダード	4段マニュアルコラムシフト	725	734	739
		デラックス	4段マニュアルコラムシフト	753	762	767
			4段マニュアルフロアシフト	753	762	767
		スーパーデラックス	4段マニュアルコラムシフト	780	789	794

◎ ハイラックス主要諸元表 ()はH-RN30-JRSJ、< >はH-RN40-JRSJ(共にスタンダード)

	スタンダードボデー		ロングボデー		
	3人乗り デラックス	2人乗り デラックス	3人乗り デラックス	2人乗り デラックス	3人乗り スーパーデラックス
	コラムシフト	フロアシフト	コラムシフト	フロアシフト	コラムシフト
	H-RN30-JDSJ	H-RN30-KDSJ	H-RN40-JDSJ	H-RN40-KDSJ	H-RN40-JFJ
●寸法					
全 長	mm	4,300		4,690	
全 幅	mm	1,610		1,610	
全 高	mm	1,565		1,560	
ホイールベース	mm	2,585		2,800	
ト レ ッ ド 前	mm	1,340(1,325)		1,340<1,325>	
ト レ ッ ド 後	mm	1,350		1,350	
最低地上高	mm	200		200	
荷 台 長	mm	1,865		2,250	2,185
荷 台 幅	mm	1,430		1,430	1,430
荷 台 高	mm	410		410	410
床 面 地 上 高	mm	690		690	
●重量					
車 両 重 量	kg	1,055(1,050)		1,080<1,075>	
最 大 積 載 量	kg	1,000		1,000	
乗 車 定 員 名		3	2	3	2
車 両 総 重 量	kg	2,220(2,215)		2,245<2,240>	
●車両性能					
登 坂 能 力	tanθ	0.36		0.36	
最 小 回 転 半 径	m	5.2〔車体5.7〕		5.6〔車体6.1〕	
燃 料 消 費 率	km/ℓ	14.0		14.0	
●エンジン					
型 式 お よ び 種 類	12R-J型 直列4気筒OHV				
内 径 × 行 程	mm 80.5×78.0				
総 排 気 量	cc 1,587				
圧 縮 比	8.5				
最高出力	PS/r.p.m. 80/5,200				
最大トルク	kg-m/r.p.m. 12.5/3,000				
燃 料 タ ン ク 容 量	ℓ 52				
●走行伝導装置					
ク ラ ッ チ	乾燥単板ダイヤフラム式				
ト ラ ン ス ミ ッ シ ョ ン	オールシンクロ前進4段・後退1段				
操 作 方 式	コラムシフト	フロアシフト	コラムシフト	フロアシフト	コラムシフト
変 速 比 第 1 速	4.862				
第 2 速	2.991				
第 3 速	1.681				
第 4 速	1.000				
後 退	5.009				
減 速 機 歯 車 形 式	ハイボイド				
減 速 比	4.875				
ス テ ア リ ン グ 歯 車 比	ボールナット式19.0～22.5				
●その他					
主 ブ レ ー キ	前・ディスク<(ツリーディング)> 後・デュオサーボ				
駐 車 ブ レ ー キ	機械式後輪制動形				
フ ロ ン ト サ ス ペ ン シ ョ ン	ウィッシュボーン式トーションバー				
リ ヤ サ ス ペ ン シ ョ ン	半橋門リーフスプリング				
シ ョ ッ ク ア ブ ソーバ 前	油圧複動筒型				
シ ョ ッ ク ア ブ ソーバ 後	油圧複動筒型				
タ イ ヤ 前	6.00-14-6				
タ イ ヤ 後	6.50-14-8				
バ ッ テ リ ー 形 式 ・ 容 量	V-AH NS40ZA又は車N50 12V-33又は車50(20HR)				

道路運送車両法による型式承認出費数値。燃料消費率：60km/h定速走行テスト値による。車は寒冷地仕様(オプション)